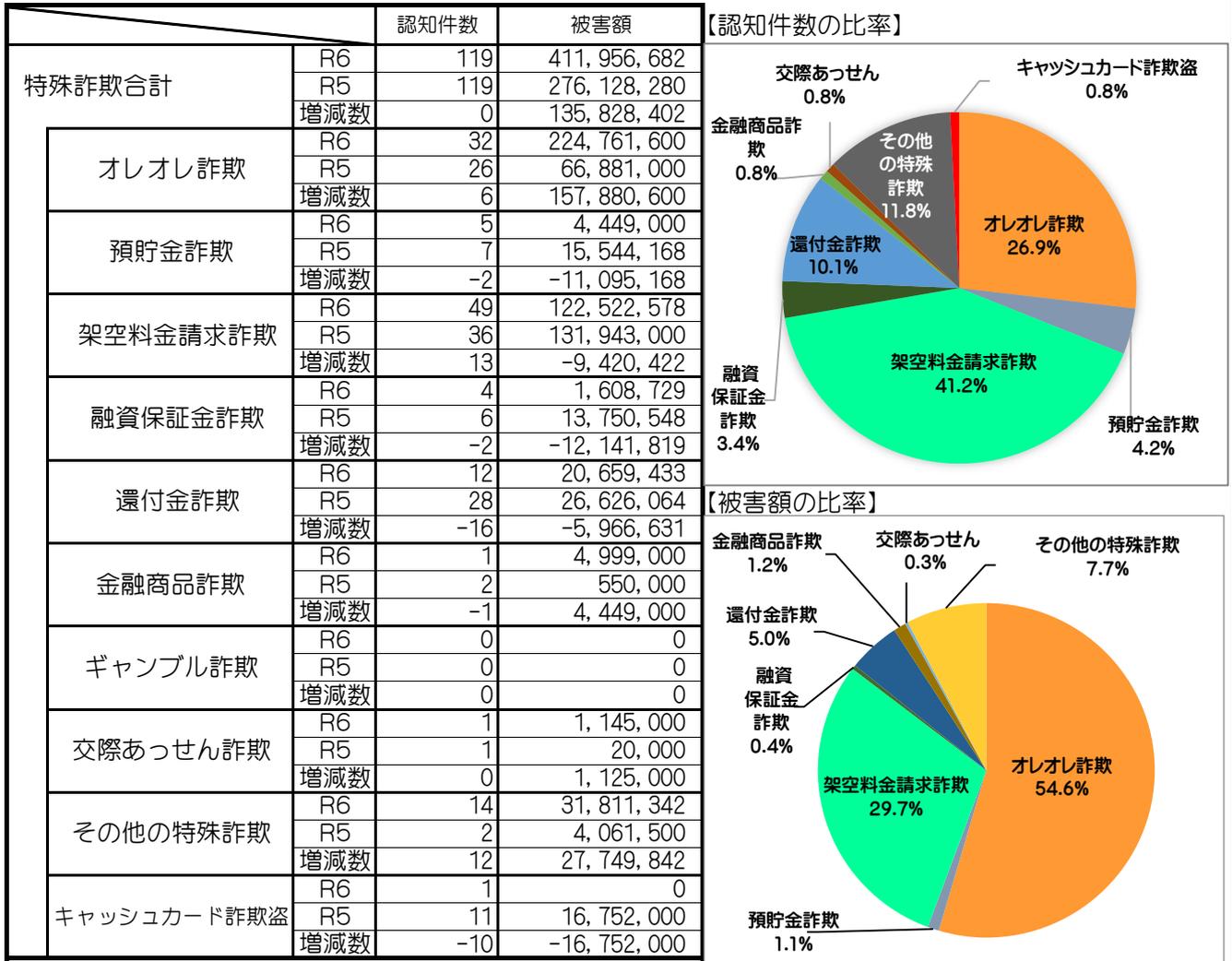


特殊詐欺対策ニュース

令和6年10月
警察本部生活安全企画課

特殊詐欺認知状況（令和6年9月末） ※暫定値

1 特殊詐欺の認知件数・被害額の状況



2 9月中に認知した主な事件

(1) 総務省をかたるオレオレ詐欺による高額被害

札幌市居住の70代女性の携帯電話に、総務省職員をかたる男から「不正に携帯電話が契約されている。原宿署の人に被害届を出したいと言ってください。」などと電話を受け、SNSでの連絡を指示された。その後、原宿署の警察官をかたる男から「詐欺で得たお金が口座に流れている可能性がある。指紋などを確認するのでお金を送って欲しい。」「道警、銀行、配送業者には内通者がいるので言わないでください。」などと言われ、犯人から指示された住所地に3回にわたって宅配便で現金を送付し、合計2,350万円をだまし取られた。

(2) 副業名目の架空料金請求詐欺

旭川市居住の50代男性は、副業関連のウェブサイトを閲覧中表示された、「副業開始の手続きをするのであれば申請してください。」と書かれたポップアップをクリックしたところ、女性を名乗る者とSNSでのやり取りが開始された。同女性を名乗る者から、「YouTubeで動画を視聴し、その動画をスクリーンショットした画像をLINEで送る」という仕事を紹介されて実行したところ、実際に数百円の収入があったことで信用してしまい、その後、高額タスクと称して、犯人から指定された個人名義口座への振込を指示され、指示されるがままに複数回の振り込みを行い、現金約20万円をだまし取られた。

○令和6年9月末における特殊詐欺の認知件数は119件(R5年9月末:119件)で前年と同数であり、被害金額は約4億1,200万円(R5年9月末:約2億7,600万円)で前年に比べ約1億3,600万円増加しました。

○特殊詐欺被害者の年齢層は、高齢者(65歳以上)の割合が約38.7%(令和5年:約75.0%、令和4年:約83.0%)となっており、昨年や一昨年よりも高齢者の方の被害が減少し、現役世代(65歳未満)の方が多くなっています。

○8月に引き続き、9月中も「総務省」をかたるオレオレ詐欺が多く発生しています。この手口では、はじめに総務省をかたる者から電話が来ますが、その後、警察官をかたる者と電話が替わり、SNSでのやり取りへと移行します。SNSのテレビ電話で、偽の警察手帳や偽の逮捕状などを見せられ、「あなたの口座を確認する必要があります。」「口座のお金を一旦預けてほしい。」などの名目で現金を要求されてだまし取られるものとなります。警察官がSNSで仕事に関連する連絡をしたり現金の支払いを請求することはないため、このような電話を受けた際には一人で判断すること無く、必ず警察に相談してください。

SNS型投資・ロマンス詐欺対策ニュース

令和6年10月

警察本部生活安全企画課



SNS型投資・ロマンス詐欺が急増中!

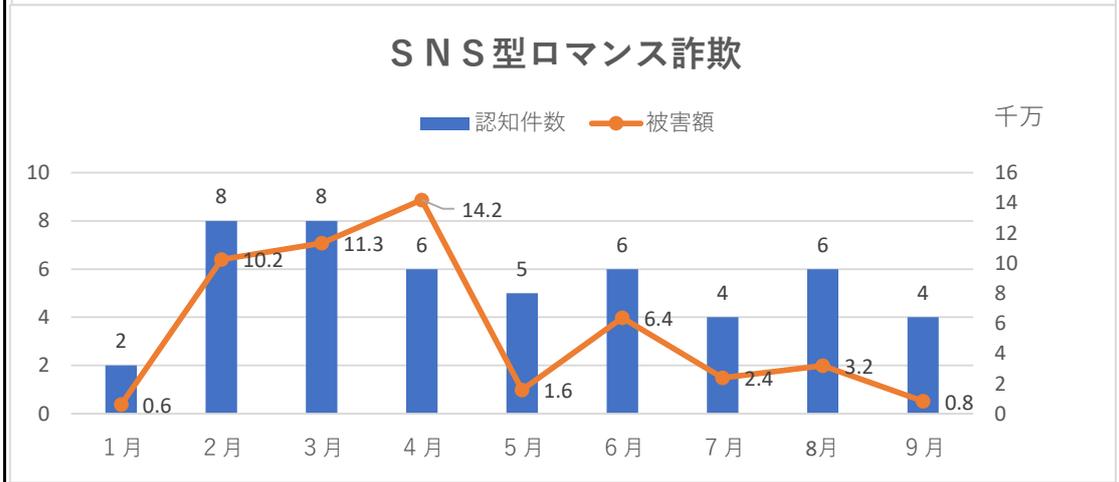
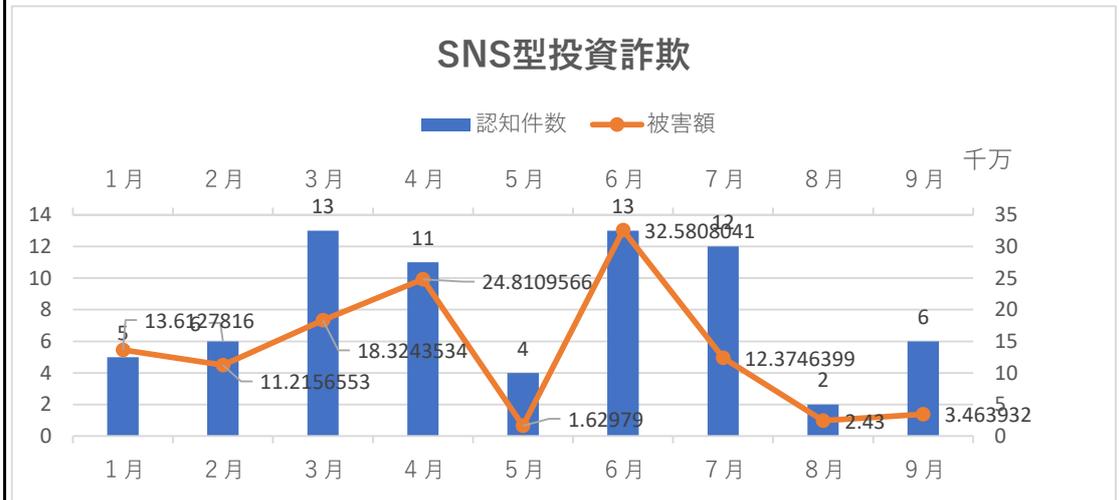
1 SNS型投資・ロマンス詐欺の認知状況（9月末）

種別	認知件数	被害額
<u>SNS型投資詐欺</u>	72件	約12億円
<u>SNS型ロマンス詐欺</u>	49件	約5億円
合計	121件	約17億1,000万円

※ SNS型投資詐欺～SNS等を通じて、投資名目で金銭等をだまし取るもの。

SNS型ロマンス詐欺～SNS等を通じて、恋愛感情や親近感を抱かせて金銭等をだまし取るもの。

2 被害発生状況の推移



3 9月中に認知した主な事件

(1) SNS型投資詐欺

空知総合振興局管内に居住の70代男性は、SNSで日本人女性を名乗る者と知り合い、株式投資での儲け話を勧められた上で、偽の投資サイトに誘導され、被害金の振込先口座の指示役や購入する株や数量に関する指示役などの者から指示されるがままに複数回の送金を行い、合計約1億4,000万円をだまし取られた。

(2) SNS型ロマンス詐欺

オホーツク総合振興局管内に居住の60代女性はSNSのダイレクトメッセージで知り合った外国籍の男性を名乗る者とメッセージのやり取りをするうちに関係が深まり、「生活を豊かにしたくないか。」などと暗号資産への投資を勧められ、同外国籍の男性を名乗る者から指定された口座に複数回の送金を行い、合計約1,190万円をだまし取られた。

4 被害防止のポイント

- (1) ネットやSNSには、投資の詐欺広告が多数存在します。

投資詐欺は、そのような広告を端緒に、LINE、Facebook、Instagram、Xなどの各種SNS、マッチングアプリなどで知り合った者からLINEなどのSNSグループチャットに招待されます。

SNSには、投資関連の詐欺グループチャットが多数存在しますので、見知らぬ者から投資を勧められた際には詐欺の可能性が高いです。

- (2) 被害に遭っている方のうち、複数回の振込みでは、毎回違う口座（個人名義や法人名義）を犯人から指定されています。

投資で個人口座への振込や毎回違う口座へ振込は詐欺と考え、警察に相談してください！

- (3) 被害防止のための着眼点

- ① **SNSやウェブサイトには、著名人をかたる投資の詐欺広告があります！**
- ② **振込先に個人名義の口座を指定されたときには詐欺の可能性が高いです。また、法人名義の口座についても、当該法人が金融庁の登録業者であるか否かを確認しましょう。**
- ③ **「投資で絶対に儲かる」などうまい話はありません！**
- ④ **SNS等で知り合った者から投資を勧められたときは、相手の話を鵜呑みにせず、まずは「警察相談専用電話#9110」に相談を！**